

# 新世紀拓く 教育

東野高等学校(埼玉県入間市)

緊急時に連絡が取れるLANさえも自前で持つシステムをつくる、それが必要ない。同年五月、も早急に。それが中村勤 わずか二カ月余りで、現  
Nを敷くには多額の資金 社の提供するサーバー機  
が必要のため、ネットワ 能とツールを使って生徒  
ークは3G携帯電話網を 情報の一元化を行い、学  
パスワードが必要だが、 生徒カルテは、全教職  
クラウド上のデータ保 員が閲覧可能。生徒情報  
存は全て暗号化されてい の開示は、ややもすれば  
る。3G自体が暗号化さ 個々の教員が抱え込みが 百万円程度。ランニン  
れた通信だ。逆にパソコ ちであったが、東野高校 保でできない。そこで、説  
ン内に情報を置かないか 教職員集団として取り組 として破格である。  
ら人的情報漏えいはなん なくていく体制が整うこと 明会や相談に來た生徒か  
い」と開発を推進したI になった。情報の共有化 なら、興味、関心、どん  
Tコンサルタント、FI から意識の共有化へ、対 高校生活を送りたいかを  
DOの中村峻氏は言う。 応の協力へと展開。生徒 聞き出し、その上で、例  
生徒情報は「生徒カル の変化を早めにつかみ手 えば吹奏楽に関心のある  
テ」に一元化、成績も出 を差し伸べることに つな 生徒ならば吹奏楽部の顧  
り管理も、メールのやり った。 問教員に預ける。そこか  
とり、面談のやりとりも 同年七月には受験生対 月からは、保護者向けの  
全てこの生徒カルテに保 応にもクラウドを活用。 校進学への不安を抱える  
存される。例えば、デザ 中学校・学習塾訪問の詳 中学生たちの心に安心感  
タル出席簿は、無断欠席 細や要望などの情報を共 与え、モチベーション  
率が一定に達すると保護 有。八月には受験候補生 に働きかけるアクション  
者に自動的にメールが送 の面談情報等の二元管理 を段階的に積み重ねてい 電子化授業を推進する。  
られ、同時に担任が電話 も開始した。同時に教員 き、受験生の受験の確率 べき、受験生の受験の確率  
を高めるとい取り組み を始めた。 フィックスは、人間的  
入してきた。 同校の掲げ 要素を組み込みながら導  
入してきた。 同校の掲げ 要素を組み込みながら導

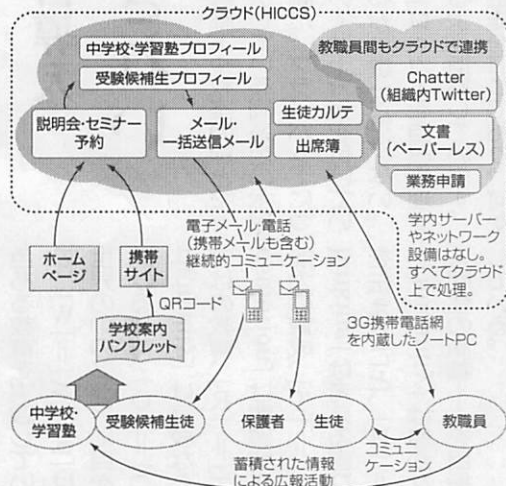
## クラウドでHICCS導入

理事長のトップダウンの フィックスの六割が構築 指示だった。 された。教職員に一人一  
平成二十三年三月、と 台のパソコンを貸与。二 りあえずツイッターで緊 万坪のキャンパスにLAN 急情報を配 信。その中  
で、浮上して きたのがクラ ウド(雲・ネ ットワーク) コンピューテ ング。サー バー機能もア プリもネット ワークを介し

城門のような校門、聖 っていた。無断欠席も多 堂のような大講堂、立ち かったという。しかし、 並んだ倉を思わせる教室 今春は様相が違った。志 棟、内部は全て木造とい 願者は前年の二二%増。 う、ユニークなキャンパ 同校に第一志望で入学し スを持つ東野高等学校 てくる生徒も増えた。無 イング。サー (中川進校長、埼玉県入 断欠席は激減した。この 間市)は、クラウドコン 変化はフィックスの導入 から始まった。 ピューティングによる東 野インタラクティブ・ク きっかけは昨年三月十 ラウドコンピューティン 一日の東日本大震災。生 徒を最寄り駅までスクー グ・システム(HICC 徒を最寄り駅までスクー S・フィックス)を導入 ルバスで送ったものの、 利用側は従 年。歴史ある私学だが、 と連絡が取れず保護者の 器・設備もソ フトウェアも



約2万坪のキャンパスに3G携帯電話網とインターネットによる学内LANを構築した



## 90周年に向け授業を電子化

使ってインターネットに 内業務のペーパーレス をかける。それでも駄目 の指導基準を標準化、ど アクセシ、これを学内 化、デジタル出席簿、保 なら保護者同伴の呼び出 のようなパフォーマンス しとなる。早め早めの 対応で無断欠席・遅刻は 減目を挙げて示した。 受験生への対応も変化 今年春の志願者増につな だた中にある。

そこで得た情報はフェ ーズごとにクラウド上の インズ、誠意・情熱を 持った心と冷静な頭脳・ 知力という教育。その理 念を達成するためのツ ー